地域包括ケアの地区展開　令和８年度　烏山　地区アセスメント

人口

面積（k㎡）	人口（人）	人口密度（人/k㎡）	高齢者人口（人）	高齢化率(%)	年少人口（人）	年少人口率(%)	世帯数（世帯）	平均世帯人数（人）
3.837	64,350	16,771	14,050	21.83%	6,518	10.13%	36,178	1.78

高齢者がいる世帯数	高齢単身者世帯数	高齢者のみ世帯数	その他高齢者がいる世帯
10,564	5,286	2,618	2,660

高齢者がいる 世帯率(%)	内高齢単身・高のみ世帯率
29.20%	21.85%

介護保険 認定者数（人）	認定率(%)
2,845	20.25%

障害者手帳保持者 身体障害者手帳	愛の手帳
1423	396

障害サービス受給者 自立支援給付	障害児通所給付
625	256

傾向

人口は区内最大、6万４千人を超えた。マンション建設、団地建替えがあり、変動があるものの、全体として微増。面積は２番目に広い。高齢化率は６番目に高く、要介護認定率は20番目に高い。年少人口率は18番目に高い。特急停車駅があり、駅や商店を利用するために滞留する人口も多い。

地域活動

町会・自治会数	会員世帯数	サロン等登録団体数	サロン	子育てサロン	ミニデイ		社協・新たな居場所登録団体数	社協・民間施設の活動場所発掘件数	社協・地区サポーター登録数	生活支援体制整備事業　協議体開催回数	資源開発・生活支援サービス件数	
21	10,518	36	30	3	3		14	19	117	2	3	

主な活動団体とその取組内容

地域福祉推進員の中の民生委員・児童委員がココロンの会を構成し、「ココロンの演奏会」「買物支援マップの作成」などの事業の中核を担っている。地域の絆補助金活用団体は８団体。

生活支援

地域密着型サービス 定期巡回･随時対応型訪問介護看護	夜間対応型訪問介護	認知症対応型通所介護	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護	認知症高齢者グループホーム	地域密着型特別養護老人ホーム	ショートステイ	特別養護老人ホーム	介護老人保健施設	都市型軽費老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム	うち、特定施設入居者生活介護
1	0	1	0	2	3	0	3	4	0	0	15	4

障害者・児　通所系・共同生活援助等

生活介護（知的）：給田福祉園、烏山福祉作業所
就労継続支援B型（知的）：烏山福祉作業所
就労移行支援：1か所
共同生活援助（グループホーム）：身・知2か所、身1か所、知的５か所、精神19か所
短期入所（障害児）：1か所
障害児通所施設：７か所

障害相談支援機関・相談支援事業所

地域障害者相談支援センターぽーとからすやま、相談支援ここから、相談室にじのこ、相談支援センターちぐさ（精神）、相談支援クロスロード（知的、障害児）、相談支援おはな（精神）、からーず相談室

医療

医療機関、訪問看護等

病院3院（世田谷北部・久我山・昭和大学附属烏山）。介護の入所施設は多数あり、訪問系介護サービス事業所は千歳烏山駅周辺に点在。

子ども・教育	児童館	烏山児童館
	その他、児童施設	子育てステーション烏山
	おでかけひろば	おでかけひろばぶりっじ@roka、おでかけひろばぴんぽ～ん、生活クラブおでかけ広場ぶらんこ烏山、おでかけひろばまるから
	保育施設	烏山北保育園・給田保育園・西之谷保育園・芦花保育園・烏山いちご保育園・烏山杉の子保育園・烏山翼保育園・烏山保育園・北烏山なごみ保育園・京王キッズプラッツ烏山・せたがや小鳥の森保育園・第二いちご保育園・にじいろ保育園給田・にじいろ保育園給田分園・メネス保育園・ラフ・クルー烏山保育園・ラフ・クルー烏山保育園分園 病児・病後児保育室ポピンズルーム千歳烏山・病後児保育室にこりんるーむ そらまめ保育園千歳烏山園・ココナッツ保育園・tenkids芦花園・あいねっこ保育園 ポピンズナーサリースクール千歳烏山
	幼稚園	区立給田幼稚園、私立佼成学園幼稚園（令和7年度入園募集停止、令和9年3月閉園）
	新ＢＯＰ	烏山小、烏山北小、給田小、武蔵丘小
	地区内に所在する小学校または関係のある小学校	烏山小、烏山北小、給田小、武蔵丘小、芦花小、都立久我山青光学園
	地区内に所在する中学校または関係のある中学校	烏山中、芦花中、上祖師谷中、佼成学園女子中、都立久我山青光学園
	地区内に所在する高校・大学等または関係のある高校・大学等	都立世田谷泉高、佼成学園女子高、日本女子体育大
	子どもに関するその他の事項	
	子ども食堂９か所（ころころ食堂☆烏山、こども食堂でこぼこ、ぞんみょうじこども食堂、ぬくぬくの家、ろかめし、LITTLE SHEEP HUT、シマダの子ども食堂、SOMPO流子ども食堂、うずら食堂）、子育てサロン（いちごのへや・子育てネットポレポレ、こどもおとなゴスペルサロン）、地域子育て支援コーディネーター、世田谷区子どもの学び場運営スタートアップ事業　まなカフェ、烏山プレーパーク、CFFジャパン、青少年烏山地区委員会の活動。	
その他支援	その他の支援機関など（例：就労支援など）	
	烏山ボランティアビューロー、福祉喫茶「どんぐり」、フードパントリー（ぶりっじ@roka・モンテコルヴォ・グッドネイバーズジャパン）、ぶんぶくテラマチ（高齢者を中心にした居場所）、コミュニティカフェななつのこ	
公共施設	図書舘	烏山図書館
	地区会館、区民集会所など	烏山区民センター・給田地区会館・南烏山区民集会所・寺町通り区民集会所・みどり会館

住まい・環境・防災

主な公園・緑道・広場	烏山公園、給田西公園、北烏山三丁目公園など　計５１か所

土地利用、地理的特徴（住宅の特徴を含む）

農地が徐々に住宅地になったため、整然とした街並みではなく、道が入り組んでいる場所が多い。農地が残っており、農家の方の協力によるじゃがいも掘り・さつまいも掘りの事業が実施されている。
北烏山二・三丁目地区地区計画区域内の団地は築年数が長く、エレベーターのない建物が多い。敷地によって管理者、分譲・賃貸などの形態が異なり、一部では建替えが始まっている。
千歳烏山駅周辺では、京王線連立事業等の都市計画事業を契機とした街づくりを推進しており、駅前広場南側地区では地権者により再開発事業に係る取組みが進められる等、街が大きく変化しようとしている中、地域住民やまちづくり活動団体等と一緒にまちの未来を考える「ちとからまちづくりフォーラム」を立上げ、参加と協働によるまちづくりの取組みを実施している。
北烏山の寺町通りを中心にある26の寺院からなる「烏山寺町」を含め、地区内に６か所の「地域風景資産」がある。

交通の便に関する事項（鉄道・道路）

京王線千歳烏山駅・芦花公園駅があり、都心へのアクセスに便利である。京王線連続立体交差事業が進められており、事業を契機として、都市計画道路の整備や、駅周辺の街づくりが進んでいる。道路は甲州・旧甲州街道が東西に、吉祥寺・烏山・寺町通り等が南北に通っている。南北の公共交通はバス路線に限られており、自転車利用者が多く、日中の千歳烏山駅前は放置自転車が多い。世田谷区地域公共交通計画（令和７年４月）において、公共交通不便地域が再定義され、北烏山１丁目、給田１丁目が該当となった。このうち「上祖師谷・給田地区地域協議会」（事務局：交通政策課）が立ち上がり、路線導入に向けて検討していくことになった。

産業に関する事項（買物・商店街などを含む）

大部分は住宅地である。一部、農地（農業）も残っている。
千歳烏山駅を中心に５つの商店街（烏山駅前通り商店街振興組合・烏山商店街振興組合・烏山西口駅前商店街振興組合・烏山駅南口商店会・南烏山六丁目商店街）があり、祭りを実施するなど活気がある。芦花公園駅前には芦花公園商店街振興組合がある。スーパーマーケットも多く、買物に便利。一方、給田や甲州街道北側は商業施設が少ない。給田からは、仙川駅に買い物に行く人もいる。

防災　→　各地区の地区防災計画を参照

地区課題解決の取組み

地区ビジョン
ふるさとからすやま　～わたしたちのまちで、元気に楽しく暮らし続けるために、笑顔と思いやりの心で地域の絆を広げよう

課題、取組みの方向性
1.【子ども・子育て】北烏山、給田エリアを中心に子育て世代が多く住んでいるが、親と子の居場所が不足し、子育て家庭の孤立化が懸念される。児童館を軸とした妊娠期から青少年までの子どもの居場所づくりの実現に向け、関係機関が連携し、地区において誰もがコミュニティの輪に入りやすく、必要な時に、相談や支援につながるような環境を目指す。
2.【つながり・集いの場】高齢者、障害者、子育て家庭それぞれへのサービスや支援は増えているものの、家族や支援機関の中に帰結されがちで、地域の生活者として捉えられにくくなっている。個々の対象、個々の事業、個々のイベントに収めず、縁側のような集いの場や、人と人との自然な交わりが生まれるサードプレイスのような場づくりを目指す。
3.【見守り・介護】地域の見守りの担い手が不足しており、地道に担い手を増やす取組みを進める一方、既存の地域コミュニティとのつながりも重視していく。また、千歳烏山駅周辺に商業施設が集中していることから、北烏山エリアの高齢者の日常の買物不便の解消に取り組む。

参加と協働の地域づくりの取組み内容（参加と協働を基盤とした地区課題への取組み）	
①	＜子育て・つながり＞北烏山での交流の場が不足していることから、世田谷泉高校の和室にて、出張子育てひろば「からフル」を実施している。また、ＵＲ都市機構の協力により、芦花公園団地において、防災イベント、おまつりなどを開催し、地域住民と子育て支援機関、社協などがお互いに知りあい、つながりあう関係づくりに取り組んでいる。
②	＜多世代・つながり＞四者連携により、未就学児の子どもとその保護者を対象に地元の農家において、さつまいも掘りを実施し、地域のつながりを深めている。夏休み中の子ども食支援として、児童館が中心となって、地域住民とともに、おにぎり提供を行なった。
③	＜生きづらさ・つながり＞ぽーとからすやまのサテライト施設の閉所日を活用して、ふらっと寄ることのできる居場所「ゆるからカフェ」を開始した（月１開催）。参加者同士がつながっていることを実感できる場を目指す。
④	＜デジタル支援・つながり＞デジタル情報を取りづらい高齢者等に対するスマホ講座は困りごとの解決につながっているほか、高齢者の集いの場にもなっている。情報機器の操作が得意な障害者が担い手として参加するなど、様々なボランティアが関わりあいながら人とつながる場になっている。また、顔の見える関係になったことにより、更なる地域活動への参加にもつながっている。
⑤	＜買物支援＞宅配可能な地元の小売店の情報を集めた買物支援マップを作成し２年ごとに更新を行っている。地区社協ココロンの会委員（民生委員）に調査を依頼し地区社協事業で配布を行うことで課題解決に取り組んでいるほか、地域と高齢者や障害者との接点を作っている。